

諏訪圏域子ども応援プラットフォーム

諏訪圏域
子ども応援
プラットフォーム

令和3年度
地域発 元気づくり支援金活用事業

諏訪地域信州こどもカフェ
推進事業



1

居場所の必要性
を知ってもらう



さまざまな立場の
方に参画してもらう



ともに考え合う場
をつくる



つながり合うこと(参画)
で地域や運営の課題の
解決につながることを
知ってもらう

どんな人が参加しているの？

市民団体や県、市町村、地域の社会福祉協議会、企業、ボランティア活動に興味のある個人の方まで、子どもたちの事を考えるさまざまな団体・個人の皆様が登録されています。「子どもたちのより良い成長を願っている」「もっと地域貢献の活動を広げたい」「何ができるかわからないけれども、子どもたちのために地域をより良くしたい」そんな気持ちのある方なら団体・個人を問わず、どなたでも登録いただけます。
(登録団体 95 件 令和3年1月現在)



登録したらどうなるの？

「もの・ひと・こと」がつながるネットワークに参加できます。例えばフードドライブや助成金の情報、イベントの広報、会員やボランティアの募集、活動継続のノウハウを共有する…などの情報のやりとりができるほか、スキルアップのための学習会などで登録団体間の交流ができます。また、必要に応じて他団体を紹介したり、団体同士、また企業などとコラボしたりと、皆さんの活動に活かせます。



登録したい方・興味のある方は、HPをご覧ください。事務局へお問い合わせください。

みんなの居場所って どんな場所？

身近に「いろんな居場所があって、自分で選べる」のがいいね！



2

知ってもらうこと＝利用者、支援者

① こどもカフェマップ、リーフレットの作成

② 月刊ぱらざへの広告掲載

共に考え合う場＝運営団体

③ 交流会の開催

3

①その1 みんなのいいばしょ(こどもカフェ)マップの作成
編集委員会でマップを作成。保育園、幼稚園、小中高の全児童生徒へ配布を行ない、公共施設、登録団体、協力企業へも配布した。

4

③ 信州こどもカフェ普及推進のための交流会を月一回、オンラインおよび対面により実施した。
運営団体や利用者、支援者などさまざまな人と共に考える機会をつくる。



コロナ禍のためオンラインを活用。
各回オンライン併用で開催。



7

信州こどもカフェの推進は？

登録団体の増加(前年より19団体増)
連携の強化＝運営団体、協賛企業、支援者、地域、
新規こどもカフェ開設者
必要な人への情報提供

コロナ禍でも活動＝お互いの工夫、悩みや好事例の共有
多くの方に情報が行き届き、利用や支援が増加
登録団体、地域の方、企業、行政を巻き込んだ活動

8